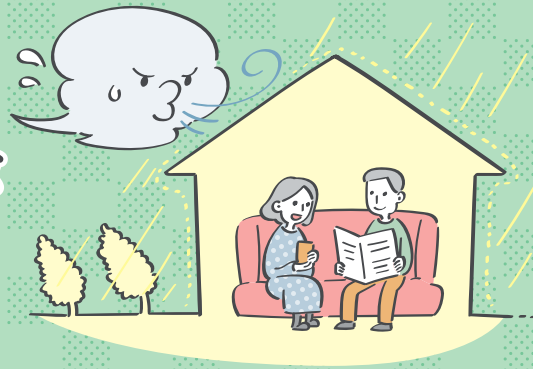


# 安全で快適な生活が送れるまち



## 政策の目標

さまざまな危機への備えが整い、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が高まり、誰もが安全で快適な生活ができるまちを目指します。

## 政策の現状と課題

近年、台風・局所豪雨・梅雨前線の影響を受け、全国各所で水害による被害が発生しているほか、今後、南海トラフを震源とする大地震の発生が予測されます。そうした中、平時から大規模自然災害等に備え、さまざまな危機を直視したインフラ整備や老朽化対策を推進することが重要です。

また、市民一人ひとりが自らの身を守り、お互いが助け合いながら地域でできることを考え、自主的に行動する機運を高めていく必要があります。

さらに、快適な生活のためには生活基盤の整備が欠かせません。水道や下水道、道路などの市民生活を支える施設の耐震化や更新が課題となっており、計画的な整備が必要です。



市の政策推進において  
**特に重要な課題**

- 人命の保護が最大限図られる
- 自然災害を踏まえたまちづくり
- 自助・共助・公助の連携
- 老朽化したインフラの計画的な対策・整備





## 目標 (KPI)

	基準値		目標値(2024)
●自主防災組織の組織率(累計)	89.5%	➔	100.0%
●防災訓練活動への参加率	33.6%	➔	50.0%
●基幹管路耐震化率(累計)	31.3%	➔	40.9%
●市道整備率(累計)	21.3%	➔	22.0%

## 施策一覧

施策名	担当部局	担当課
防災・防犯体制の強化	市長公室	危機管理課
河川改修・砂防施設整備	建設部	建設課
安全でおいしい水の安定供給	建設部	水道課
生活排水の適正処理	建設部	下水道課
道路・港湾の整備	建設部	建設課

## みんなで進めるまちづくり

市民一人ひとりが  
できること

- ★日ごろから、防災備品の準備や避難に関する知識、ハザードマップの確認などの情報収集
- ★近所に誰が住んでいるか、普段からの把握
- ★自主防災組織の活動への積極的な参加
- ★限りある資源である水を大切に使うこと

地域等みんなで  
できること

- ★防災訓練を地域で行い、市民の参加を積極的に促すこと
- ★自主防災組織の積極的な活動

用語	説明
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。

## 5-1 防災・防犯体制の強化



### 施策の方向性（施策の目標）

市民一人ひとりの防災意識・危機管理意識が高まり、市民（自助）・地域（共助）・行政（公助）がそれぞれの役割と責任を理解し、連携・協力をするることにより、地域で安心して生活することができるまちを目指します。



### 達成したい目標

No	指標名	基準値	目標値(2024)
1	防災行政無線整備率（累計）	48.3%	100.0%
2	消防団員の定員充足率	94.9%	100.0%
3	自主防災組織の組織率（累計）	89.5%	100.0%
4	防災訓練活動への参加率	33.6%	50.0%
5	備蓄品を3日以上用意している市民の割合	26.5%	50.0%



### 目標達成のために解決すべき課題と取組

#### 課題①

##### 災害情報の一斉伝達

- ▷ 近年、大雨による災害が多発し、激甚化しています。また、南海トラフ地震が発生する確率も高まっていますが、2010年に作成したハザードマップでは、対応できていない状況にあります。
- ▷ 市内全域に一斉に情報を伝える手段がないため、災害発生時に一斉かつ瞬時に情報伝達を行う手段の更新・整備が必要です。



#### 取組①

##### 災害情報提供手段の充実

- ▷ 市民に防災情報を正確かつ迅速に伝えるためデジタル防災行政無線（同報系）の整備やSNSでの情報発信を行います。
- ▷ 災害リスクを事前に周知するためにハザードマップの更新を行います。

#### 課題②

##### 消防団員の人材確保

- ▷ 消防団員の高齢化に加えて、若年層の人口流出により若手消防団員の安定的な確保が困難になっています。



#### 取組②

##### 消防団員確保のための啓発活動の推進

- ▷ 若手消防団員の確保のため、広報やホームページなどを活用し、募集・啓発活動を行います。
- ▷ 小中学校での出前講座を積極的に行い、年少期から消防団の活動に対する理解の促進を図ります。
- ▷ 企業に加入促進に向けた呼びかけを行い、人材確保に努めます。

**課題③**

**災害時要援護者の把握**

▷ 高齢化による高齢者・要介護者など災害時要援護者が増えています。しかし、避難行動要支援者名簿への登録は申請によるため、名簿に登録されていない災害時要援護者の把握が必要です。



**取組③**

**災害時要支援者の把握と支援体制の確立**

▷ 適宜、地域防災計画の修正を行うことで、実効性を高めます。  
▷ 介護保険認定者の高齢者や障がい者、妊婦などの災害時要援護者をサポートするための地域体制の確立に取り組みます。

**課題④**

**防災意識の地域格差**

▷ 自主防災組織の結成状況や防災訓練への参加状況には地域により温度差があるため、防災意識の向上が必要です。



**取組④**

**防災意識の醸成**

▷ 市民及び各地域の防災意識を向上させるため、各地域での自主防災組織の活動や防災訓練・防災士資格取得などの活動を支援します。

**課題⑤**

**備蓄品等の量・種類の変化への対応**

▷ 南海トラフ地震が発生する確率が高まっている中で、避難所における感染症対策の観点から、備蓄量・品目の見直しを行い、備蓄倉庫の確保・整備が必要です。  
▷ 家庭での備蓄についても、自主防災組織等を通じて、啓発を行う必要があります。



**取組⑤**

**災害時の備蓄倉庫・備蓄品等の確保・管理の徹底**

▷ 変化する自然災害に対応できるように、適宜、備蓄計画を見直すとともに家庭等での備蓄増加に向けた啓発に取り組みます。

**課題⑥**

**防犯灯の老朽化対策・防犯意識の向上**

▷ 地区で設置・管理している防犯灯は、老朽化や故障に伴いLED化への更新が必要です。  
▷ 自分たちのまちは自分たちで守る、という防犯意識の向上が必要です。



**取組⑥**

**防犯灯の老朽化対策の推進**

▷ 地区内の防犯灯整備を促進するとともに市民の防犯意識の向上や地域での犯罪予防に取り組みます。



**関連する個別分野計画**

計画名	計画期間
備前市地域防災計画	2019年3月～
備前市国民保護計画	2007年4月～
備前市業務継続計画	2018年6月～
備前市国土強靱化地域計画	2021年4月～2026年3月

用語	説明
激甚化	非常に激しい様。
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。
デジタル防災行政無線（同報系）	防災情報を住民に周知することを目的に設置される屋外拡声子局や戸別受信機などによるシステム。



## 5-2 河川改修・砂防施設整備



### 施策の方向性（施策の目標）

気候変動に伴う豪雨の頻発化・激甚化を踏まえた河川や砂防施設等のインフラ整備、施設の維持・管理の推進により、防災機能の強化を図ることで、安全・安心な生活を送ることができるまちを目指します。



### 達成したい目標

No	指標名	基準値	目標値(2024)
1	河川改良箇所数	2件	2件
2	河川浚渫件数	9件	9件
3	防災重点ため池のハザードマップ作成数	5件	5件



### 目標達成のために解決すべき課題と取組

#### 課題①

#### 河川・砂防施設等の維持管理

- ▷ 老朽化している河川・砂防施設等の維持管理や堆積土砂・樹木繁茂対策の計画的な実施により、施設の長寿命化及び事前防災を図ることが必要です。



#### 取組①

#### 河川・砂防施設等の適正な維持・管理

- ▷ 河川・砂防等の老朽化施設の計画的な改修を行います。
- ▷ 河川内に堆積した土砂や繁茂した樹木の除去を行います。
- ▷ 河川浚渫土の処分場を建設します。

#### 課題②

#### ため池の維持管理

- ▷ 耕作者の高齢化により、ため池の適正な維持管理がなされていないため、老朽化したため池の状況を把握し、改修や廃止を検討することが必要です。
- ▷ 防災重点ため池のハザードマップ作成を引き続き実施することが必要です。



#### 取組②

#### ため池施設等の適正な維持・管理

- ▷ 老朽化したため池施設の計画的な改修や廃止を行います。
- ▷ 防災重点ため池のハザードマップの作成に取り組みます。

### 課題③

#### 河川・砂防施設等の未整備箇所の整備

▷ 自然護岸等の未整備箇所の河川改良、急傾斜地・土石流危険渓流などの対策工事が必要です。



### 取組③

#### 河川・砂防施設等の未整備箇所の整備

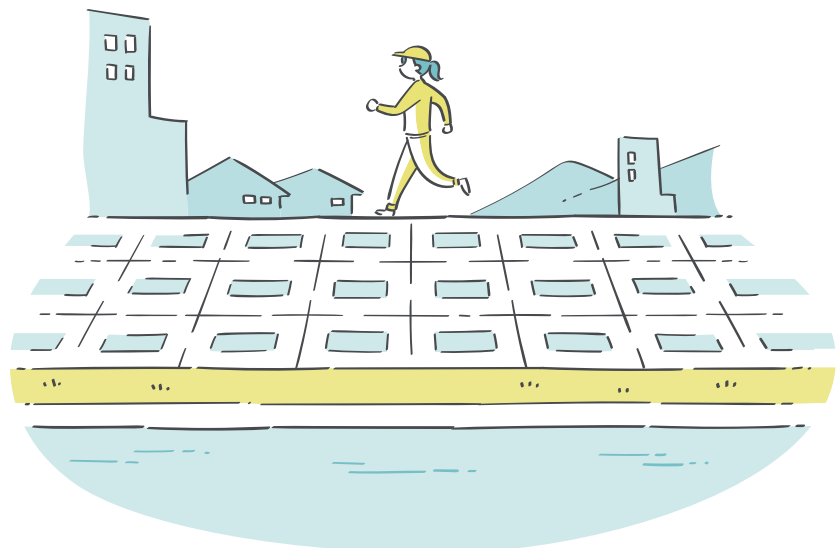
▷ 河川・砂防施設等の整備を実施します。



### 関連する個別分野計画

計画名	計画期間
備前市堆積土砂管理計画	2020年12月～2025年3月

用語	説明
激甚化	非常に激しい様。
浚渫(しゅんせつ)	土砂を取り去る土木工事。
砂防施設	国土交通大臣の指定した土地において治水上砂防のため施設するもの。
防災重点ため池	決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれがあるため池。
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。
長寿命化	施設の汚れや傷み、設備の不具合などを直し施設の耐久性を高め、もっと長く施設を使い続けること。



## 5-3 安全でおいしい水の安定供給



### 施策の方向性（施策の目標）

「安全で安心な水の供給」「持続可能な事業運営」「災害に強い水道の構築」を実現するまちを目指します。



### 達成したい目標

No	指標名	基準値	目標値(2024)
1	基幹管路耐震化率(累計)	31.3%	40.9%
2	配水池耐震化率(累計)	87.4%	91.7%
3	有収率	75.0%	85.0%



### 目標達成のために解決すべき課題と取組

#### 課題①

#### 基幹管路の老朽化対策

▷ 基幹管路は昭和40年代に布設されたものが多く、年々老朽化が進んでいます。災害時でもライフラインとして機能することができるよう、耐用年数が経過した基幹管路の更新を行うと同時に、耐震化を進めていくことが必要です。



#### 取組①

#### 基幹管路の耐震化工事の実施

▷ 漏水調査、老朽度診断を実施します。  
▷ 基幹管路のうち、病院等重要給水施設への管路など重要度の高いものから優先して耐震化工事を実施して、災害に強い水道管路の構築を図ります。



### 課題②

#### 配水池の地震対策

- ▷ 災害時でもライフラインとして機能することができるよう、配水池の耐震化を進めていく必要があります。



### 取組②

#### 配水池の耐震化の推進

- ▷ 計画的、年次的に配水池の更新を実施します。
- ▷ 耐震化が完了した配水池への統合を実施します。

### 課題③

#### 有収率の改善

- ▷ 経年により老朽化した管路が増加し、漏水が発生し有収率が年々低下しているため、有収率の改善が必要です。



### 取組③

#### 有収率向上のための管路の更新

- ▷ 有収率の向上を図るため、漏水調査や老朽度調査を行い、管路の更新を計画的に実施していきます。



## 関連する個別分野計画

計画名	計画期間
備前市水道ビジョン	2020年4月～2030年3月

用語	説明
配水池	浄水場から送られた浄水を一時的にためておく施設。
基幹管路	導水管、送水管、口径150mm以上の配水管（給水分岐のないもの）。
有収率	一年間の有収水量（料金徴収の対象となった水量）÷1年間の配水量（浄水場から送った水量）。効率を表す指標であり、100%に近いほど効率がよく、値が低くなるほど漏水が多くなっている状況。





## 5-4 生活排水の適正処理



### 施策の方向性（施策の目標）

生活排水を適正に処理することで、河川や水路等の公共水域の水質改善を図り、より多くの市民が清潔で快適な生活を送ることができるまちを目指します。



### 達成したい目標

No	指標名	基準値	目標値(2024)
1	下水道整備率(累計)	83.3%	90.0%
2	水洗化率(累計)	92.4%	93.4%
3	下水道事業の経費回収率	98.1%	130.0%
4	放流水質COD	7.9mg/L	20.0mg/L以下



### 目標達成のために解決すべき課題と取組

#### 課題①

#### 老朽化施設等の更新

▷ 下水道施設の老朽化による故障や不具合が発生していることから、継続的かつ適正な汚水処理を行うために、計画的に施設の更新を行うことが必要です。



#### 取組①

#### 老朽化施設・設備の更新工事の実施

▷ 備前市下水道ストックマネジメント計画に基づいて、汚水及び雨水処理の老朽化している施設・設備の更新工事を実施します。



**課題②**

**効率的・継続的な事業運営**

▷ 人口減少等により使用料収入が減少している一方で、下水道施設の老朽化による維持管理費用が増加しています。そのため、効率的かつ継続的な事業運営と管渠整備を実現することにより、収入確保と経費削減を行い、経営基盤の安定を図ることが必要です。



**取組②**

**下水道の管渠整備**

▷ 令和5年度の概成を目指し、管渠整備工事を進めます。



**取組③**

**適正な下水道使用料金の設定**

▷ 経営基盤の安定を図るため、下水道使用料の改定を検討します。

**課題③**

**適正な汚水処理の実施**

▷ 下水道整備済区域内に未接続の世帯があります。また、計画区域外には、合併処理浄化槽が未設置の地区もあります。公共水域の水質改善や環境保全を行うため、適正な汚水処理を実施することが必要です。



**取組④**

**適正な汚水処理の周知強化**

▷ 下水道に未接続である世帯に対して、下水道への接続の必要性や重要性などを説明し、接続を促進します。



**取組⑤**

**適正な汚水処理への支援**

▷ 下水道整備計画区域外の世帯に対して合併処理浄化槽設置補助金を交付します。



**関連する個別分野計画**

計画名	計画期間
備前市下水道事業経営戦略	2016年4月～2026年3月
備前市下水道ストックマネジメント計画	2020年4月～2025年3月
岡山県備前市循環型社会形成推進地域計画（第3次）	2021年4月～2027年3月

用語	説明
COD	化学的酸素要求量。（※施設設置届での排水基準20mg/L）排水基準に用いられる指標のひとつで、有機物が多く水質が悪化した水について値が高くなる。
管渠	地下又は蓋のある水路の総称。下水道で使用される管渠の多くは、円形である。

## 5-5 道路・港湾の整備



### 施策の方向性（施策の目標）

生活道路が整備・管理され、市内のどの地域に住んでいても安心して日常生活を送ることができるまちを目指します。また、港湾も整備・管理され、地震や津波などの災害時には防災機能が働いている安心なまちを目指します。



### 達成したい目標

No	指標名	基準値	目標値(2024)
1	橋梁の補修箇所数(27箇所)	7箇所	27箇所 (2023年)
2	市道整備率(累計)	21.3%	22.0%



### 目標達成のために解決すべき課題と取組

#### 課題① 道路施設の維持管理

- ▷ 老朽化した橋梁や舗装などの計画的な補修により、施設の長寿命化及び安全で良好な状態を保つことで、事前防災を図ることが必要です。



#### 取組① 道路施設の適正な維持管理

- ▷ 市が管理する市道・農道・林道等について、計画的に舗装等の補修を行います。
- ▷ 市が管理する道路や橋梁等について、定期点検・改修を行い、機能維持に努めます。



### 課題②

#### 道路環境の整備

- ▷ 国道2号の渋滞対策、未整備区間による交通阻害の解消、交通安全施設・歩道・自転車道の充実、防災機能を備えた「道の駅」などさらなる整備を進め、安全・安心で災害に強い道路環境を実現することが必要です。



### 取組②

#### 道路環境の整備の推進

- ▷ 道路の拡幅及び新設改良整備を行います。
- ▷ カーブミラー、転落防止柵等の交通安全施設の整備を行います。
- ▷ 通学路交通安全プログラム（五箇年計画）による危険箇所の整備、歩道、自転車道の整備を行います。
- ▷ 交差点部の右左折レーンや交通量の多い拠点間の未整備区間の整備により、交通渋滞の緩和を推進します。
- ▷ 防災機能を備えた「道の駅」の整備を進めます。



### 課題③

#### 港湾の機能強化

- ▷ 老朽化した港湾施設の長寿命化を図るとともに、地域再生のための港湾整備が必要です。



### 取組③

#### 港湾・漁港の整備による機能強化

- ▷ 市が管理する寒河港・鴻島港・久々井港の点検を行い、整備・改修を適切に進め、港湾機能の強化を図ります。
- ▷ 県管理の港湾・漁港とともに管理し、東備港全体の機能強化を図ります。
- ▷ 高潮対策として県が進める防潮堤の整備に併せて、内水面の排水整備を進めます。



#### 関連する個別分野計画

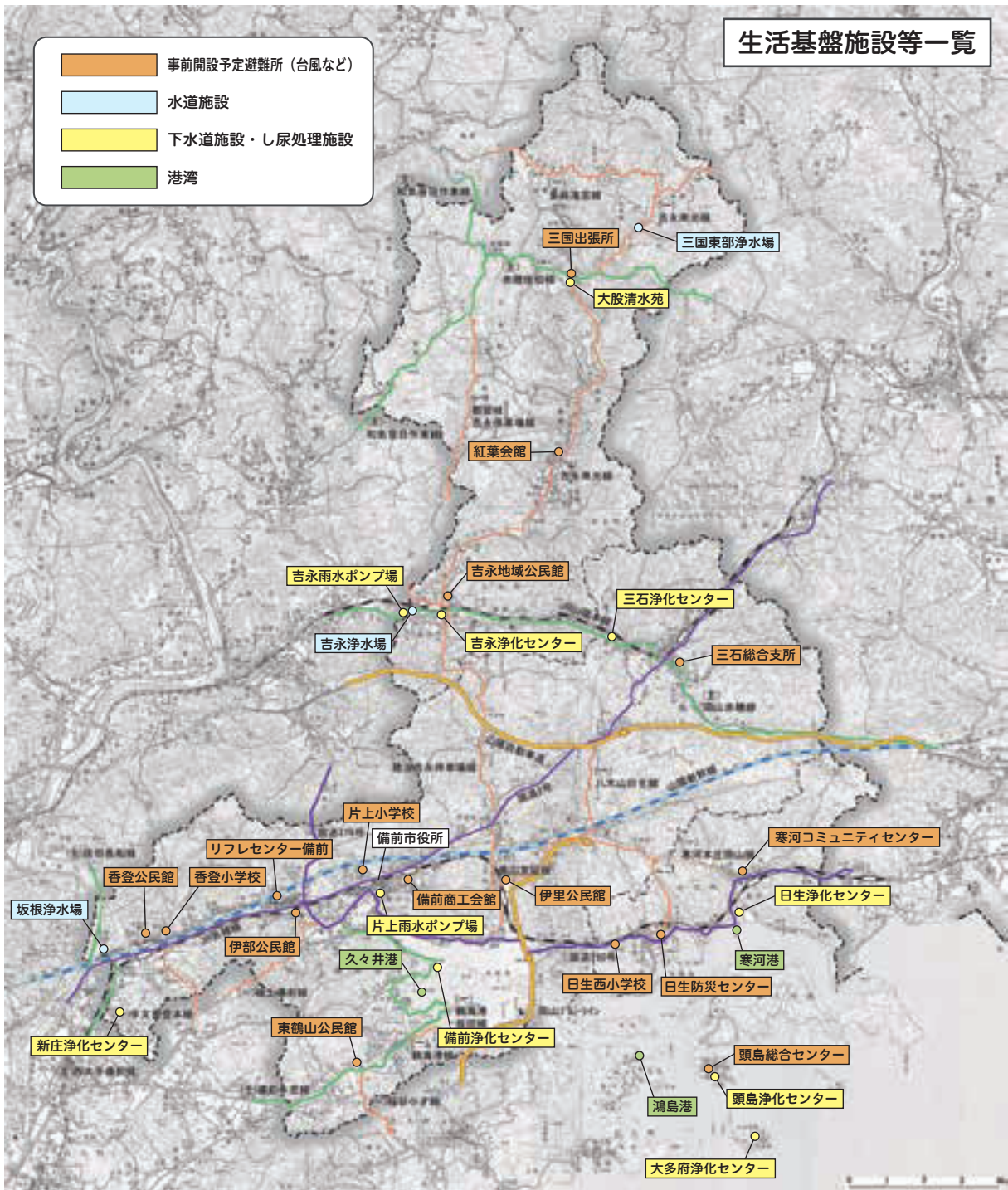
計画名	計画期間
備前市橋梁長寿命化計画	2018年3月～2022年3月
備前市トンネル長寿命化計画	2018年3月～2027年3月
備前市港湾施設維持管理計画	2021年3月～2025年3月

用語	説明
橋梁	一般的な「橋」と同義。
長寿命化	施設の汚れや傷み、設備の不具合などを直し施設の耐久性を高め、もっと長く施設を使い続けること。



# 関連情報

## 生活基盤施設等一覧



備前市を東西に走る国道2号線は、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施するため必要な緊急輸送道路に指定されている。



## ●防災訓練

大雨による災害が多発、激甚化している状況や大規模地震が発生する確率が高まっていることを踏まえ、東備消防組合等とも連携し、総合防災訓練や自主防災組織による防災訓練を定期的に行っています。



## ●河川事業

台風等の集中豪雨による水害、土砂災害を軽減するため、屈曲した川の流れをゆるやかにしたり極端に蛇行した川の流れをショートカットしたりするなどの改良を進めています。また水の流れを円滑にするために兩岸と河床をコンクリートで覆う場合もあります。



## ●備前♡日生大橋

日生町の本土から鹿久居島にかけられた橋で、平成27年4月16日に開通しました。鹿久居島から頭島にかかる頭島大橋は平成16年に既に開通しており、本土から頭島まで車両で通行できるようになりました。橋の名称は、公募により決定されています。



## ●防潮堤整備、道路事業

台風などにより大波や高潮、津波による被害を軽減するため、市の沿岸部に防潮堤の整備を進めています。

また、歩道の確保、災害時の安全、緊急車両のアクセス改善、高齢者や障がいを持った人たちが安心して暮らせるようにするためのバリアフリー化などを考慮し、狭くて車両が通りづらい道や見通しが悪い道などの改良、道路の新設を行っています。

